

報告・評価シート【事業所名：日中支援型障がい者グループホーム綴～つづり～大垣静里】

項 目	評価の視点	実地状況等【具体的な内容】	協議会委員からの要望・助言・評価		事業所 回答
			綴～つづり～大垣静里	全事業所	
1. 地域に開かれた運営	実習生やボランティア等の受け入れ	・受入人数：実人数		【要望】 ・実習生やボランティア等の受け入れ実績がない。今後も受け入れの機会を設け、地域で働く人材育成に関わる運営をお願いしたい。地域住民の方との交流の場の充実についても努めていただきたい。 ・ボランティア等の受け入れがないのはコロナの感染予防のためとは思いますが、感染防止に努めながら気軽に地域の方と交流できるレクリエーションなど取り入れ、地域に理解してもらい、災害等困ったときには助けてもらえる関係づくりに努めること。 ・実習生やボランティア等の受入について：コロナも五類となっている中、地域の施設、施設の社会化を意識してボランティアの受け入れ、交流の機会を計画的に設けてほしい。  【助言】 ・地域の行事に参加したり、広報紙を作成して配布したり、地域交流がもてる行事を事業所が企画するなど、地域住民に障がい者へ理解や障がい福祉サービスの理解を深めていけるとよい。 ・実習生やボランティア等の受け入れがないが、日常的にこれらの受け入れが難しい場合は、ホームのイベントなどにボランティアを依頼するなど、工夫をしていただくとよい。	【回答】 ・実績としてはゼロではありますが、法人として過去に実習生やボランティアの受け入れをお断りしたことはありません。職員体制が不足しており、現状、積極的に募集をする状況ではないため、広報等はしていませんが、体制が整い次第、地域交流の選択肢を増やしていきたいと考えています。 ・広報誌（写真付きの活動に関する情報提供）につきましては、隣接する生活介護より家族への配布は行っているところではありますが、今後は配布、設置場所等を増やしていきたいと思います。 ・イベント等のボランティア依頼については、他事業所での実績もあるため、参考にして実施していきたいと思います。
		0名			
		・実習等受入事例			
	地域住民との交流の機会の確保	・交流機会の事例  町内の清掃活動（ゴミ拾い）1時間程行いました。			
2. 短期入所の併設	地域で生活する障がい者の積極的な受け入れ	・利用者数	【要望】 ・家族の不安解消のため緊急的利用のニーズへの対応の実績をふやして行ってほしい。		
		2名（大垣市の支給決定者）			
	緊急的利用のニーズへの対応	・緊急受入人数			
		0名 (令和3年12月1日 ～ 年 月 日)  ・緊急受入れの事例  現時点での受け入れはありません。			
3. 支援の実施	利用者が充実した地域生活を送るための外出や余暇活動等の支援	・外出や余暇活動等の事例  買い物や病院・美容室同行。季節のイベント、ゲーム、お誕生会、お散歩など月1回程度、行っている。	【要望】 ・日中の支援において、「塗り絵などの準備」（申請調書）となっているが、プログラムなどは組んでいるのか。組んでいないようであれば、個別支援と共に支援の全体プログラムも検討していただきたい。  【評価】 ・支援員の資質向上を目指した研修会等がとても充実している。また訪問看護ステーション等との連携を密にし、利用者のニーズに幅広く応じている。また、体験的利用の実例も多く、支援の充実に対する努力がすばらしいと感じる。	【要望】 ・重度化、高齢化等へのニーズについて重症心身障がい者も含めて受け入れた場合、緊急時に対応できる医療関係者を24時間体制で常駐させていただけないか。 ・医療的ケアのある利用者様の利用希望があった場合の医療支援体制を整えてほしい。体制が整っていないため、受け入れできないと断ることがないようにしていただきたい。 ・支援の質の確保について、県・市等が実施する様々な研修に積極的に参加して支援者の質の向上を図って欲しい。 ・スタッフの質の向上は大変重要だと思う。実施している研修の方法、内容等はもう少し詳しく報告していただけるとよい。（計画だけでなく、実績の報告を） ・強度行動障害のある方への支援について研修実施や受け入れ実施について評価させていただきます。より一層の取り組みが進むことを望みます。 ・苦情解決や虐待防止等の研修を計画的に位置付けて取り組みを進めていることは高く評価できます。特に虐待については管理者が日常の様子をよく見て、危機感をもって、職員の方の言動を見守っていただけることを望む。 ・コンプライアンスを遵守し、入所者の人権を尊重して運営いただくことを望む。  【評価】 ・体験的ニーズへの対応が積極的である。	【回答】 ・日中活動については、隣接する生活介護を含めると、1名の方を除き全ての方が外部施設へ行かれています。月例会等のイベント等は土日に開催していますが、現状としては、プログラムを組んでも平日日中に対応する利用者はいないかたちとなります。今後、日中活動に行けない方が増えた場合は、拡充を考えていきたいと思います。 ・重度者を受け入れた際に、必要であれば体制を整えて行きたいと考えている。現状としては、加算対象となる重度者がいないため、同法人内訪問看護の24時間コールにて対応させて頂いている。 ・施設体制が許す限り、受け入れをしていきたいと考えていますが、通常体制の維持も厳しい状況となっています。ニーズについては重々理解しているところですので、サービスの質、量共に十分に整えた上で、出来る事からすすめて行きたいと思います。 ・研修体制については同法人内に専門部署を新設し、月1ペースで研修を実施しているところでもあります。今後、研修メニューについても精査し、強度行動障害の研修も組み込んでいければと考えています。併せて、外部の研修へも職員を送りだせる体制を整えていきたいと思います。
		支援の質の確保（資格取得・研修等）			
	重度化・高齢化等へのニーズへの対応	・取得した資格、参加した研修等  初任者研修・介護福祉士実務者研修・介護福祉士・意思決定支援と虐待防止に関する研修会。強度行動に関する研修会。			
		・対応事例  施設で訪問看護と契約していて、急病時、即時に訪問看護ステーションよいかんに連絡、必要により連携施設、協力医療機関に責任を持って引継ぎをしています。			

項 目	評価の視点	実地状況等【具体的な内容】	協議会委員からの要望・助言・評価		事業所 回答
			綴〜つづり〜大垣静里	全事業所	
	体験的利用のニーズへの対応	<div>・体験利用人数</div> <div>16名(延べ人数)</div> <div>・体験利用の実例</div> <div>1〜3回の体験をしていただいた上、ご本人・ご家族ともに安心して生活ができることを知っていただいてから入居して頂けました。</div>			
	日中、土日を含めた常時の支援体制の確保	日中活動として、簡単なパズルやカードゲーム、塗り絵などを準備しています。			
4. 利用者の状況	利用者の障害支援区分	区分6： 0名	<b>【要望】</b> ・訪問看護ステーションと24時間の連携という強みがあり、医療的ケアが必要な方の受け入れ等検討してもらいたい。  <b>【評価】</b> ・令和3年に事業を開始してまだ2年と少しですが、利用者が多いのは事業者様の努力ではないかと思う。障害者が安心して暮らしていけることを願う。	<b>【要望】</b> ・医療的ケアが24時間必要な難病の利用者は多くても1名ぐらいで極めて少ない状況である。症状が安定している難病者も多いので自立への支援を積極的に行ってほしい。 ・医療的ケアの必要性、強度行動障害の利用者の実績が無かったり、あっても少ない。自閉症の強度行動障害の家族で困って見える方のニーズは多いと思われる。大変だと思うが職員の専門性を高めて対応できるように努めてほしい。 ・他の日中活動サービスを利用していない利用者さんに対しての充実した日中活動を行ってほしい。	<b>【回答】</b> ・自立への支援については、個々人の状況を把握しながら継続的に実施していきたい。隣接する生活介護等を活用し、機能維持や日中活動時間を増やす、就労継続B等につながる練習もできればと考えています。
		区分5： 0名			
		区分4： 3名			
		区分3： 8名			
	利用者の障害特性等	区分2： 5名			
		区分1： 0名			
		区分なし：0名			
	利用者の障害特性等	・医療的ケアの必要性 強度行動障害のある利用者の人数			
		16名中 0名			
		・他の日中活動の利用状況			
5. その他	運営の特色・工夫等	16名中 13名			
		・主な他の日中活動サービス利用先			
		バンデ大垣静里生活介護紡			
		・入居募集方法や申込状況			
	他の日中活動サービスの利用	他の事業所相談員や病院ワーカーと連携し、空室の情報提供により、見学や体験利用をしていただく。			
		・他の日中活動の利用状況			
		16名中 13名			
6. 協議会からの要望・助言への対応（2回目以降）	要望・助言への誠実な対応	・要望・助言の内容及びその対応			
		従業員レベルや特性に合わせた支援を行うため、研修マニュアル増紙、研修参加費の補助、月1回の研修会で対応。			